

図書館だより

No.46

令和3年10月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館

本館 04-2964-2415

西武 04-2932-2411

金子 04-2936-1811

藤沢 04-2966-8080

図書館へURL <https://lib.city.irusa.saitama.jp/>



10月27日(水)～11月9日(火)は、「読書週間」です。

～読書週間～ 読書を推進する行事が集中して行われる期間で、戦後間もない1947年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」との思いから開催されたのが始まりです。(主催：読書推進運動協議会)



※今年の読書週間の標語とポスターです

読書週間の標語とポスターは毎年公募で決定しています。(入选すると賞金や図書カードがもらえます。)

大賞に選ばれたポスターは、全国の書店や図書館に貼られます。

また、読書週間に合わせて多くの図書館で、読書推進のための様々な事業が開催されています。

読書週間中のイベントをご紹介します！

ブックツリー ～読書の木を育てよう～

図書館で配布する葉型のカードに、おすすめ本とその著者、本についてのコメントを書いて、各図書館のカウンターへお持ちください。

書かれた葉型カードは、各図書館に設置したブックツリーへ貼って展示をします。

葉型カードをお持ちいただいた方には、スタンプカードを差し上げます。

葉型カード1枚ごとにスタンプカードへ、スタンプをひとつ押印します。

スタンプが3つ押されたら、記念品として「入間市立図書館オリジナルのとんちゃんの素敵な缶バッジ(またはマグネット)」をプレゼント！

期間：10月27日(水)～12月26日(日)

場所：本館・西武分館・金子分館・藤沢分館

参加費：無料



どなたでも、何回でも参加できます！どうぞ奮ってご参加ください！

葉っぱが多いほど、立派な木に成長します！
みなさんのおすすめ本がたくさん載った素敵なブックツリーになるように、育ててあげてくださいね！



図書館のイメージキャラクター：とんちゃん

館ごとに木の種類が違います！



しょうがくせいむ
＜小学生向け＞

どくしょ チャレンジ！読書ラリー



ふしぎ だいぼうけん
～とんと不思議な大冒険～



ほんを読んで、としょかん島にいるモンスターをたおそう！

モンスターを3匹たおすと、“とんちゃんオリジナルカード”をプレゼント！

モンスターはぜんぶで9匹！ぜんぶ退治できるかな？

挑戦したい方は、としょかん島の地図がかいてある冊子をもってね。

※冊子は、各図書館のカウンターでもらえるよ！



期間：10月23日（土）～令和4年1月16日（日）

場所：本館・西武分館・金子分館・藤沢分館

参加費：無料

もらえるカードはランダムだよ！

なかにはとってもレアなカードもあるかも…？

たくさん本を読んで、挑戦してみてくださいね！

読書アルバムを作ろう！

読んだ本を記録してみませんか？

図書館では、自分がこれまで読んだ本を記録できる「読書アルバム」
を無料で配布しています。

ご希望の方は、図書館の貸出カウンターにてお申し出ください。

また、「読書アルバム」に貼る、資料名と著者名を印刷したシールも
発行しています。

借りた資料のなかで、「読書アルバム」に残しておきたいものがあり
ましたら、お返しの際、図書館の返却カウンターでお申し出ください。

その場でシールを発行して、お渡しします。

本だけでなく、借りたDVDやCDの記録もできますよ！





大人のためのBookガイド

『本のよもやま話』 瀧井朝世／編 文藝春秋 <019.04/ホ>

人気作家46組の、本をテーマにした豪華対談集。お互いの作品の感想を語り合い、創作秘話や読書体験などが各組短い対談の中に凝縮されています。

作家達をよく知る編者が企画したので、仲よし二人組や尊敬する先輩など組み合わせが絶妙です。作家の言葉に表現力、発想力、人柄の一面が垣間見えて、親近感が湧いてきます。

対談の中でお薦め本が随所に紹介されているので、読書意欲もそそられますよ。



『異文化コミュニケーション学』

鳥飼玖美子／著 岩波書店 <361.5/ト>

グローバル化が進み、多様な文化の方との暮らしが日常となってきました。日本の当たり前が、通用するとも限りません。そこで、海外ドラマや映画のセリフなどから、改めてコミュニケーションや言語について学んでみませんか。相手の文化を理解して、より円滑にコミュニケーションをとれるようになりますね。

『コーヒーで読み解くSDGs』 Jose 川島良彰 (他)／著 ポプラ社 <617.3/コ>

この本では、大学教授、国際NGOの元職員、コーヒーハンターというそれぞれ異なる分野の専門家が、コーヒーを通してSDGsの解説をしています。普段何気なく飲んでいるコーヒーが実は、貧困・ジェンダー・環境などの、世界の様々な問題に関係していることがわかります。

読んだ後は、コーヒーの見方や選び方が変わるかもしれません。



※図書館本館にSDGs関連の本を集めた常設展ができました。そちらもぜひご覧ください。



読み聞かせボランティアグループの広場

図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループの **どんぐり** (本館)・**かざぐるま** (西武分館)・**おはなし円** (西武分館)・**茶の花** (金子分館)・**トトロ** (藤沢分館)です。各グループより、最新情報をお届けします。

どんぐり おはなし会が再開されると思ったら、中止になることが多く、とても残念です。早く落ち着いておはなし会ができるようになりますように。その時は楽しい本をたくさん読んで、みんなの明るい笑顔を待っています。もう少しみんなで頑張りましょうね。

かざぐるま コロナで読み聞かせのチャンスが失われて淋しさが続いております。コロナがはやく終わってお子様方に素晴らしい絵本を紹介したいです。

おはなし円 子どもたちは、おはなしを聞くことが大好きです。なにかのためでなく、ただただおはなしを楽しむことがかけがえのない体験となっていきます。それは、大人にとっても大切な時間です。また図書館でお会いできますように。

茶の花 おはなし会再開にそなえて、あれこれ考えながら時々図書館へ行き本選びしています。たくさんある本の中から選ぶのに迷いますが、それも楽しみ。さてどんなのかな…楽しみにしています。

トトロ おはなし会ができずにいる間に、少しずつですがパネルシアターを大きめに作り直したり、新しい超大型紙芝居作りを計画し始めました。皆さんに会って一緒に楽しめるのが何よりの喜びです。おはなし会があったら、ぜひ遊びに来てくださいね。

こども向けブックガイド

2021年7月から9月までに入間市立図書館に入った子どもの本の紹介です。

『おっこちてきた』

サイモン・ブトック／文 ダニエル・イグニス／絵 青山南／訳 光村教育図書
《E/み6》



突然、空からおちてきた謎の物体。「それ」は動くこともなく、音を立てることもなく、ただそこに転がったままでした。声をかけてみても反応しません。一体「それ」は何？

ひとつのものをきっかけに様々な意見が生まれ、やがて世界中を巻き込む大騒ぎとなっていく様子が可愛らしい絵とともに描かれています。

最後にほっこりできる素敵なお話です。

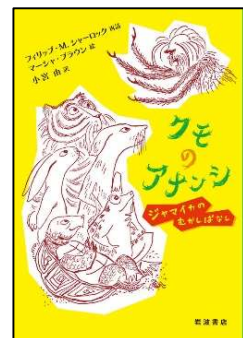
『クモのアナンシ ジャマイカのむかしばなし』

フィリップ・M・シャーロック／再話 マーシャ・ブラウン／絵 小宮由／訳
岩波書店《388》

アナンシとは、人間でもありクモでもある不思議な生き物で、西アフリカの昔話として言い伝えられています。

この本は、自分よりも体の大きな動物を相手にしたり、知恵を使って自分よりも力の強い動物をだましたりなど、アナンシが活躍する数々のお話を読むことができます。

どのお話も愉快で楽しいものばかりです。読み終えたころにはアナンシの事が好きになっているかもしれません。



ティーンズ向け

※ティーンズ向けの本には、オレンジのラベルがついています。

『午前3時に電話して』

小手鞠い／著 講談社《こでま》



とあるブックカフェの本棚にある何も書かれていない白い本。その本には「みんなで自由にお話を書き込み、書き終わったら本棚に戻す」というルールがありました。

誰にも打ち明けられないことを『お話』として、その本に書くことに決めた伊藤みなみ。みなみの書いた『お話』をきっかけにかつての仲間だった3人の中学生たちが動き出します。同世代の学生さん達にぜひ読んでいただきたい1冊です。